

ドーピング防止
のための

今月のテーマ

スポーツファーマシスト

近年の米国大リーグの薬物疑惑や元陸上スター選手のドーピングが社会問題になっています。ドーピングとは競技力を高める目的で薬物を使用したり、それらの薬物の使用を隠したりすることで、スポーツの精神に反するとして禁止されています。

どういう行為が当てはまるかは世界ドーピング防止機構(World Anti-Doping Agency)が規程(Code)を定めWADA Codeとして世界統一規則としての機能を発揮しています。

スポーツファーマシストは、薬の使用がドーピングにあたるか競技者が自己判断できるための情報提供や助言を行います。

禁止薬物とは？

主な薬の分類を記載します。

- ◆ 蛋白同化男性化ステロイド薬 (筋肉増強剤など)
- ◆ ペプチドホルモン、成長因子および関連物質 (成長ホルモンなど)
- ◆ β 2作用薬 (ホクナリンなど喘息治療薬)
- ◆ ホルモン調節薬および代謝調節薬
(女性ホルモン剤、インスリン類、*アロマターゼ阻害薬(アリミデックス、フェマール))
*アロマターゼ阻害薬はむくみなしに筋肉増強し体を引き締めるのでサプリメントに好まれる
- ◆ 利尿剤および隠ぺい薬 (フロセミド、アルダクトンA、チアジド類など)
- ◆ 興奮剤 (市販のかぜ薬、漢方薬に含まれるエフェドリン、*メチルヘキサンアミン)
*メチルヘキサンアミン (ゼラニウム) 代謝促進作用がありハーブサプリメントに含まれる
- ◆ 麻薬、大麻
- ◆ 糖質コルチコイド (リンデロン、プレドニゾロンなど)

また、特定競技において禁止される物質

- ◆ アルコール→モーターサイクル、航空スポーツ、パワーボード、アーチェリーなど
- ◆ β 遮断剤 (テノーミン、メインテートなど)
→アーチェリー、射撃、ゴルフ、スキー、ビリヤード、自動車、ダーツ

β 遮断剤は運動やストレス状態の時に心機能抑制に働き心不全の危険性がある。また振戦や全身性の不安障害の治療にもちいられる理由から1点集中が必要な競技や恐怖心を生じる競技において禁止される。

❌ 禁止方法とは？ ❌

- ◆ 血液、血液成分の操作（自己血、他者血、赤血球の投与など）
- ◆ 化学的物理的操作（尿のすり替え、静脈注射など）
- ◆ 遺伝子ドーピング（正常あるいは遺伝子を修飾した細胞の使用）

毎年禁止薬物は変更になります。
 表面に記載したものは主なものなので詳しくは薬剤師にお尋ねください。
 また治療目的で表面の薬を使用する時は、競技者が事前に申請をして認められることが必要です。



薬剤師がどのように役に立つの？

日本で発生しているドーピング防止規則違反のうちの多くは、競技者に薬に関する適切な情報が提供されていれば、違反となることを防ぐことができたと考えられる内容です。
 『うっかりドーピング』の事例では病院での処方薬のみならず、街の薬局やドラッグストアで購入している市販薬による違反事例が多く含まれています。

事例

市販の風邪薬を服用したことで禁止物質が検出されて競技向上の目的でなくても数か月の資格停止

漢方薬はやさしい薬であると解釈して服用したことにより、禁止薬物が検出されて資格停止

痛風治療薬にWADA禁止表で隠ぺい薬として禁止されている薬物が含まれていた

ドーピング防止規程を把握し、薬の服用に関して適切なアドバイスができる薬の専門家である薬剤師がいれば『うっかりドーピング』を防止することが可能であると考えられます。また、競技者が安心して競技に取り組む環境をサポートできます。

どこの薬局にスポーツファーマシストが在籍しているかは各都道府県の薬剤師会のホームページまたは「スポーツファーマシスト」で検索すると登録している薬剤師がわかります。また、薬剤師であればドーピングにかかる薬かどうかを、お時間はいただきますがお調べして、ご返答することができます。薬のことは些細なことでも薬剤師にご相談ください。

お薬や介護についてわからないことや、気がかりなことがありましたら、
 お気軽にお尋ねください。

担当 みやこ薬局 北山店

***** みやこ薬局 *****

本店・山科店・薬大前店・マツヤスーパー店・北山店・紫竹店
 大宮店・みやこケアプランセンター（北山店横）

<http://www.miyako-ph.co.jp>